

第19回 登別市中小企業地域経済振興協議会 議事録

平成27年6月25日(木) 18時30分～

登別商工会議所 会議室

- ◆出席委員：松山 哲男 会長
齋藤 正史 副会長
小幡 功 委員
藤田 康 委員
垣内 登紀子 委員
安達 陽子 委員
千葉 洋子 委員
二瓶 秀幸 委員
井上 昭人 委員
計9名

- ◆事務局：商工労政グループ穴戸商工労政・新エネルギー主幹
奥田主査
竹中担当員

- ◆登別商工会議所事務局：田村事務局長

- ◆議題：(1) 地域資源に関するアンケート結果について
(2) 登別市中小企業地域経済振興協議会における今後のスケジュールについて

【要旨】

項目	発言者	内容
<p>(1) 地域資源に関するアンケート結果について</p>	<p>会長</p>	<p>第19回中小企業地域経済振興協議会を開催する。</p> <p>今回の会議の目的は、1. アンケート調査の結果を踏まえた今後の取り組み、2. 今後の協議会の日程 についてである。</p>
	<p>安達委員</p>	<p>アンケートの回収状況としては、185件の回収件数となった。まずは、回収したアンケート調査を皆様にご覧いただき、回答内容をどのように活用していくべきか、一人一人から感想を述べて頂きながら、活用方法を検討したい。</p>
	<p>垣内委員</p>	<p>温泉や農産物、魚介類など、大体思い浮かぶものが多く出されていると思う。そんな中でも気になったのが、家族で遊べる施設が無いという点、それから、道の駅が多く目に付いた。</p>
	<p>千葉委員</p>	<p>やはり道の駅で地元の農産物・魚介類が手に入る場所、若年者が集える場所が欲しいという意見があった。面白いのは、日和山は風が吹くと音がするので、「地獄山」という名前に改名し、地獄の音がする山として温泉地と組み合わせ話題作りをすればよいという意見があった。</p>
	<p>藤田委員</p>	<p>改めて登別温泉を資源として挙げている意見が多かった。また、富浦から見る海岸線がきれいである、鉾山町近辺をキャンプ場として整備すればよいといった意見、乳製品の更なる活用が出来ればよいという意見、高速道路富浦パーキングエリアを整備し、一般道からも入場可能な物販施設として利用すべきといった意見が出されていた。</p>
<p>小幡委員</p>	<p>集まる場所が無いという意見が多かった。若い人や家族が集まる場所が無く、室蘭に行ってしまう</p>	

(2) 登別市中小企業地域経済振興協議会における今後のスケジュールについて

副会長

っているという現状が見受けられた。道の駅がなぜないのだろうという素朴な疑問を持っているという意見が見られた。幌別ダムやオロフレ峠の展望など、既存のものを活用して経済に繋がられないかという意見や、片倉家の歴史をPRすべきという意見があった。

目的は複数挙げられていたが、道の駅に関する意見が最も多かった。市内全域を見渡し、様々な資源が出てきていた。札内町から見るきれいな星や亀田記念公園など、市外の人からはほとんど知られていないことを、もっと知らせてあげられれば活用できるのではないだろうか。

会長

道の駅が必要だという声、水芭蕉の湿地帯、橋湖などの自然・景観を具体的に出している意見があった。また、アイヌ文化に注目すべきという意見があった。これらをどのように活用すべきかを具体的に提起している意見もあった。

内容としてはこのような形の回答があったところである。今後、どのように集計・整理し、協議会で活用していくかを協議していくが、回答を一度まとめて提示したいと思う。まとめ方としては、ある程度の分類分けをした方が良いと思うので、事務局により、資源が一覧としてわかる形に分類して頂きたい。なお、次回の協議会の中で、整理された地域資源を見ながら、活用方法を検討したい。

続いて、登別市中小企業地域経済振興協議会における今後の日程については、大貝先生の方に依頼したアンケート調査の実施が遅れてしまったことから、調査報告書の提出も11月頃まで遅れる見込みとなっている。については、改めて日程を調整していくため、次回の協議会の際には、変更された日程を全体に共有していきたい。

本日はこれで終了します。お疲れ様でした。